

# 「核兵器全面禁止のアピール」

## 核兵器の禁止を！あなたの署名を国連へ

核兵器のない世界の平和と安全を！

2010年5月、世界189カ国の政府代表がニューヨーク・国連本部にあつまり、「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決めました。核不拡散条約（NPT）再検討会議でのことです。

この合意を生み出した力は、核兵器の廃絶を求める世界の人びとの声と行動です。国連本部の前には、日本と世界から運ばれた何百万もの署名が積み上げられました。国連総会場の入口には、いまも署名の現物が3メートルのツインタワー（写真）に収められ、各国の政府代表に市民社会の願いを思い起こさせています。

いま進めている「核兵器全面禁止のアピール」署名は、この「合意」を実行させるためのものです。2012年春には次のNPT再検討会議（2015年）の準備がはじまります。

日本は世界でただ一つ、原爆の悲惨さを経験した国です。いまも20万人を超える被爆者が心と体の傷に苦しみながら、核兵器の廃絶を訴えています。一人ひとりの市民が、被爆者とともに声を上げるときです。



「人ひとがいたるところ  
で「アピール」に署名し、  
交渉開始を！」の合唱に声  
を合わせることを願って  
います。

2011年2月15日  
潘基文(パンギムン)事務総長



国連の潘基文事務総長はこの運動の出発にあたって、世界中の人々がこの署名に応じ、「交渉開始を！」の合唱に声を合わせて欲しい」とよびかけました。目標は、全国すべての市町村で住民ぐるみの運動とすることです。あつまつた署名は、核兵器廃絶を求める人類の願いの証として毎年、国連総会やNPT再検討会議に提出します。

私も核兵器禁止を呼びかけています



田上富久



クミコ



松井一郎

## 核兵器の 禁止を

*For a Total Ban  
on Nuclear Weapons*



張本 勲



大江健三郎



瀬戸内寂聴



谷口稟暉

あなたの  
署名を国連へ！

Q  
核兵器はなぜあるのか

国連加盟国は 193 カ国 — 圧倒的多数の加盟国が核兵器廃絶を求めています。核不拡散条約 (NPT) で核兵器を持つ国とされているのはアメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国の 5 カ国。核兵器廃絶のために交渉する義務を負っています。他にイスラエル、インド、パキスタン、北朝鮮の 4 カ国は NPT に入らず、核兵器を開発しました。

しかし毎年国連総会で採択されている核兵器禁止のための交渉提案には、インド、パキスタン、中国に加え、北朝鮮やイランも賛成しています。核兵器を持ついくつかの国が決断すれば、全面禁止の交渉はすぐにも開始できます。

Q  
核拡散を防ぐには？

アジアでも北朝鮮の核兵器開発が人びとの不安をよんでいます。核兵器を持つ国はどこも、自分たちの核は「抑止力だ」、「安全保障のためだ」と主張します。しかし、核兵器が安全保障のために認められるなら、だれもが核を持とうとするでしょう。この考え方方が「核拡散」をすすめてきた本当の原因です。

核拡散を防ぐには、核兵器の開発や保有を専しく禁止する以外にありません。国連の潘基文事務総長も 2010 年の夏、広島で、この「核抑止力」論について「安全保障に名を借りた妄想」と批判しました。

Q  
原発は？ 原発に対する

私たちは、ノーモア・ヒロシマ、ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャと呼び続けてきた運動として、福島第一原発の事故で被災した人々を支援しています。危険な放射能汚染をこれ以上絶対にくり返してはなりません。そのために、エネルギー政策を原発依存から自然エネルギーへと転換させていくよう提唱しています。

核兵器全面禁止のアピール

1945 年 8 月、広島と長崎に落とされた原爆は一瞬のうちに二つの街を焼壙に変え、21 万の人々の命を奪いました。いまなお 20 万を超える被爆者が苦しんでいます。この悲劇をいかなる地にもくり返してはなりません。

いま核兵器の廃絶を求める声は世界にひろがっています。多くの国で市民が行動し、政府がその実現を支持しています。ヒロシマ・ナガサキをくり返させないもっとも確かな保証は核兵器を全面的に禁止し、廃絶することです。

2010 年 5 月の核不拡散条約 (NPT) 再検討会議では、核保有国を含む 189 の国々が「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを決めました。いま、それを実行に移すときです。

私たちはすべての国の政府に、  
すみやかに核兵器禁止条約の交渉を開始するよう求めます。